

2026年3月期 決算説明会

2026年6月3日

高松機械工業株式会社(証券コード：6155)

TAKAMAZ

目次

1

2026年3月期 決算概要

2

2027年3月期 業績予想

3

2027年3月期 取り組みについて

4

資本コストや株価を意識した経営の実現

(参考) 会社概要

当資料は、作成時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的に判断した一定の前提に基づいております。経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性がありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

1

2026年3月期 決算概要

■ 決算サマリー

◆ 業績 ◆

- 全社受注高 **132億93**百万円（前年同期比11.6%増）
- 工作機械事業売上高 **112億15**百万円（前年同期比9.0%減）
- I T 関連製造装置事業売上高 **13億38**百万円（前年同期比3.2%減）
- 自動車部品加工事業売上高 **1億68**百万円（前年同期比7.5%減）
- 営業利益 **△64**百万円（前年同期は△1億60百万円）

◆ トピックス ◆

- 営業強化策の実行
国内外主要展示会への出展、TAKAMAZ夏の生産性応援キャンペーン 等
- 複合加工機能、地域毎需要に焦点をおいた新機種の開発
XTLシリーズ、AT-1 等
- 中期計画2027 初年度の取り組み
「値決め（価格決定プロセスの再構築）」、「営業体制強化」、
「全社バリューチェーン最適化」への注力

2026年3月期 決算概要

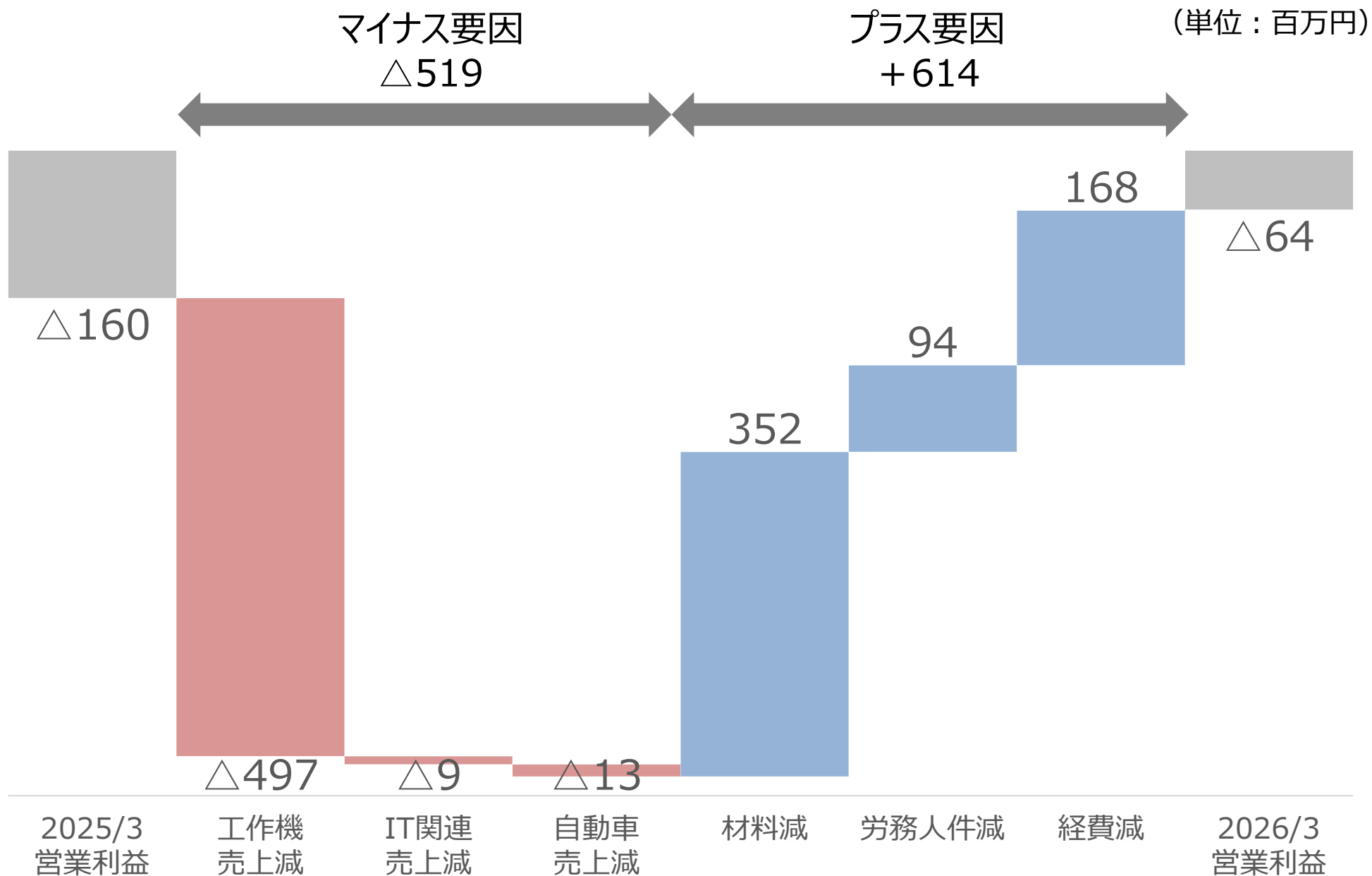
	2025/3		2026/3		対前期比	
	金額	対売上 (%)	金額	対売上 (%)	増減額	増減率 (%)
受注高	11,912	-	13,293	-	+1,381	+11.6
売上高	13,893	100.0	12,722	100.0	△1,170	△8.4
売上原価	10,633	76.5	9,426	74.1	△1,207	△11.4
売上総利益	3,259	23.5	3,296	25.9	+37	+1.1
販管費	3,419	24.6	3,361	26.4	△58	△1.7
営業利益	△160	△1.2	△ 64	△ 0.5	+95	-
経常利益	△103	△0.7	△ 70	△ 0.6	+33	-
親会社株主に帰属 当期純利益	△645	△4.6	△ 164	△ 1.3	+481	-

※ 受注高は工作機械事業及び I T 関連製造装置事業の受注高の合計です。
 工作機械事業の受注高は、旋盤・改造機、部品等の合計です。

- ✓ 期前半は受注が低調に推移したものの、後半にかけて回復基調
- ✓ 売上は期前半の受注低迷を受けて低調に推移するも、後半にかけて徐々に回復基調
- ✓ 今期も営業赤字となったが、営業損失の幅が前期に比べて縮小

営業利益増減分析

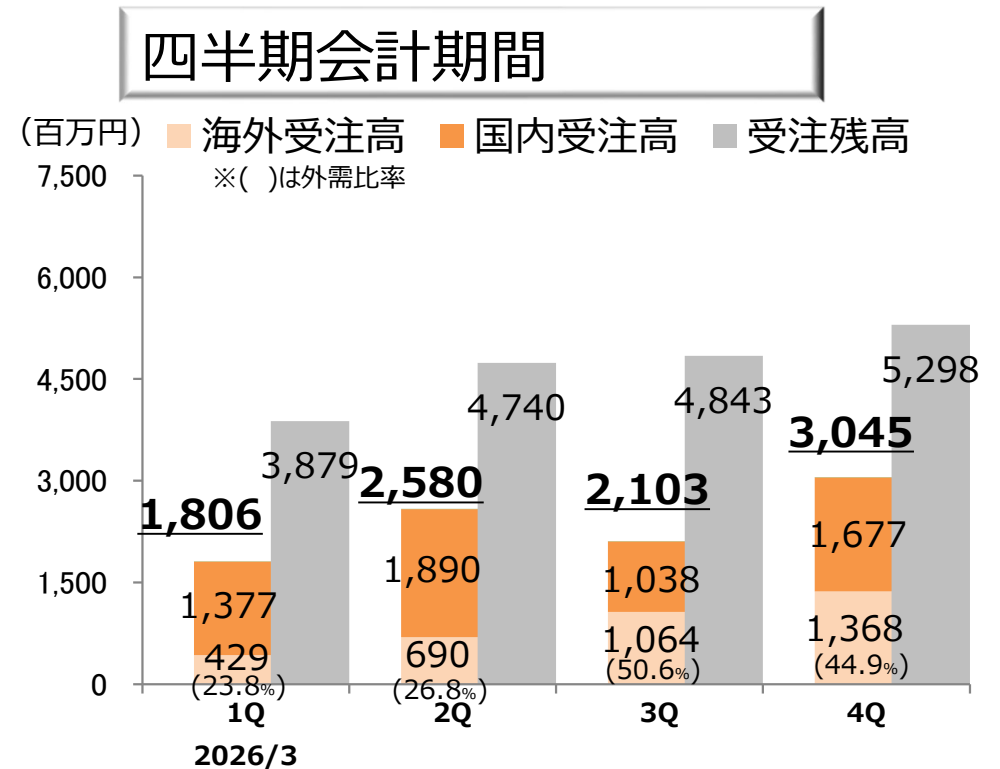
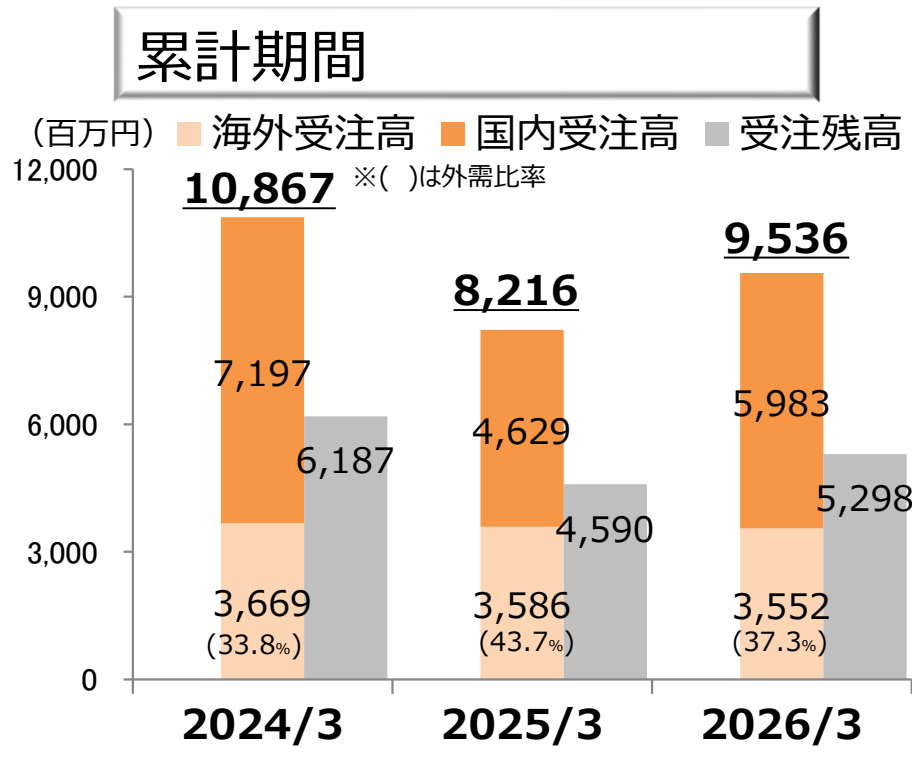
費用の増加（収益の減少）
収益の増加（費用の減少）



■ 工作機械事業の状況

受注高・受注残高の推移

(注) 受注高及び受注残高は、旋盤・改造機に限定しています。



決算のポイント

- ✓ 期初からの米国通商政策による影響
- ✓ 主要取引先である自動車業界の緩やかな復調
- ✓ 国内外における営業強化策の実施

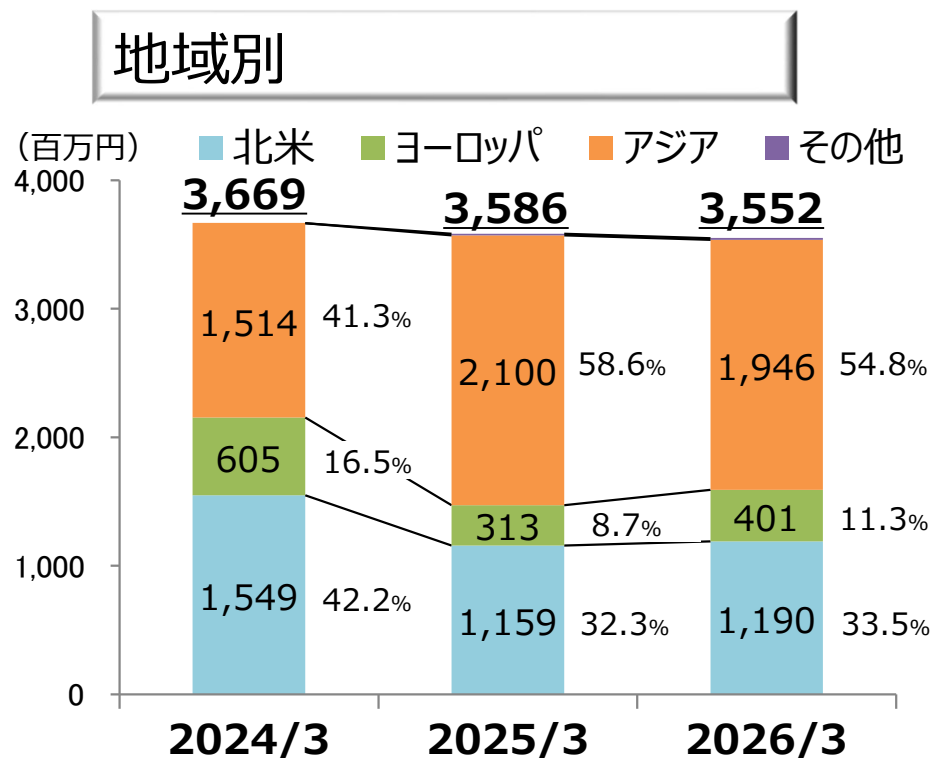
取り組み実績

- ✓ TAKAMAZ夏の生産性応援キャンペーンの実施
- ✓ 国内外の主要展示会や海外子会社でのプライベートショー出展を通じての積極的なPR活動

■ 工作機械事業の状況

海外受注高の推移

(注) 受注高及び受注残高は、旋盤・改造機に限定しています。



主要な国別 (百万円)

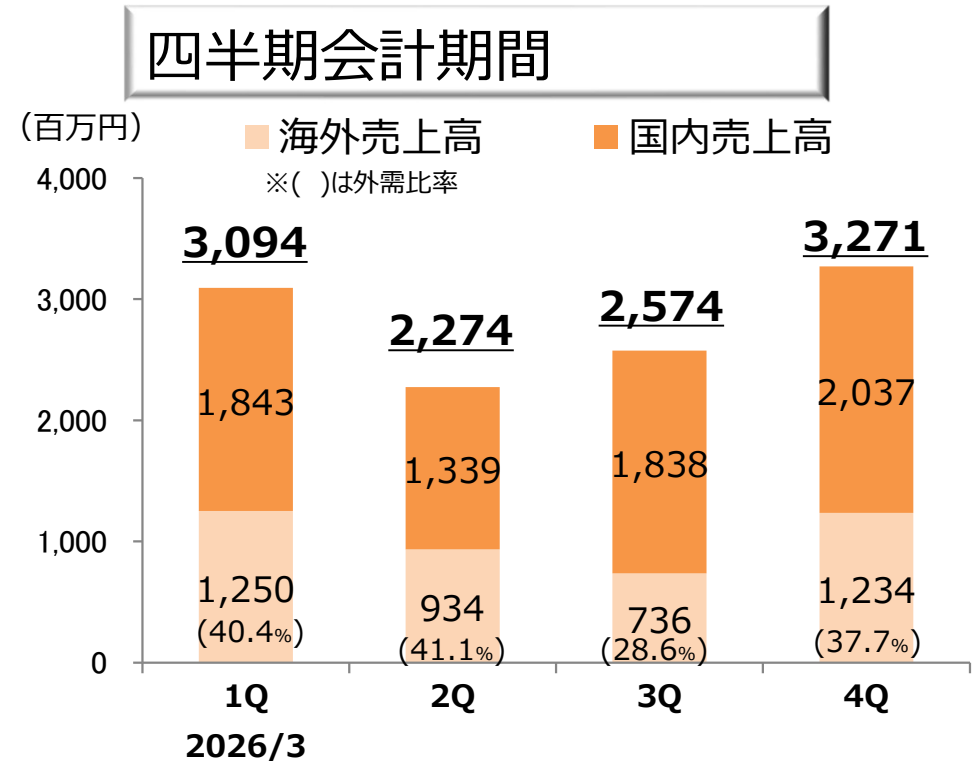
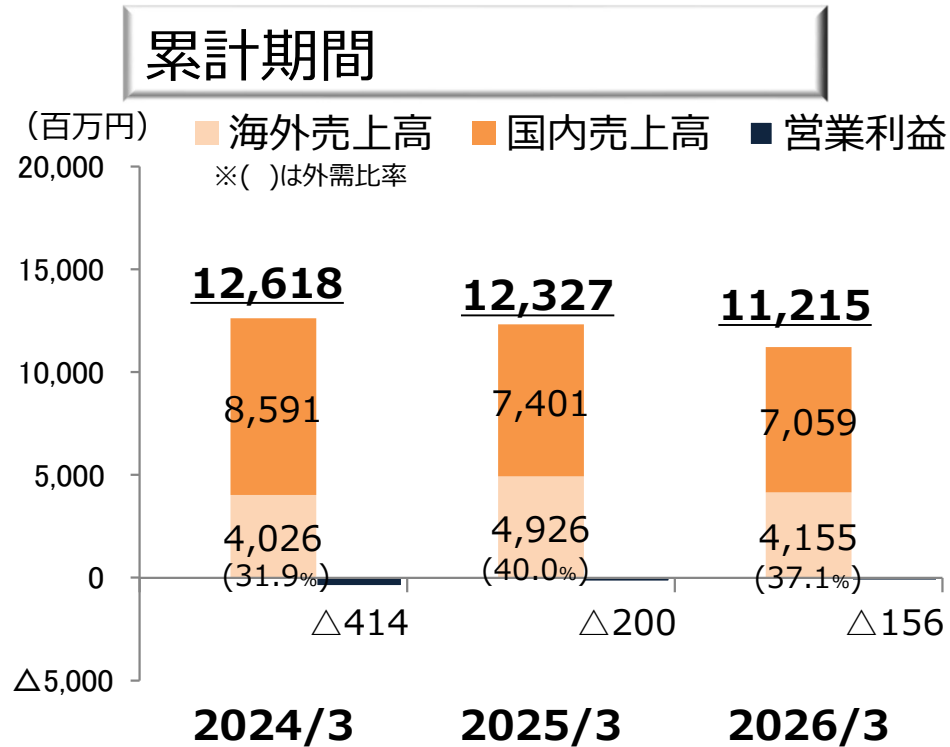
	2024/3	2025/3	2026/3
アメリカ	1,491 (+26.0%)	1,064 (△28.6%)	1,028 (△3.3%)
タイ	703 (+76.8%)	667 (△5.2%)	441 (△33.8%)
中国	115 (△77.3%)	684 (+491.0%)	838 (+22.6%)
ドイツ	294 (+8.4%)	246 (△16.4%)	298 (+21.2%)
ベトナム	458 (+138.2%)	242 (△47.1%)	257 (+6.0%)

※ %表示は対前期増減率

決算のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 期前半、アメリカ向けは低調に推移したが、後半に巻き返し ✓ 中国向けは堅調に推移
取り組み実績	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域毎案件毎のニーズや、求められる納期などを分析、対策を立案し、提案営業を強化 ✓ 期後半よりアジア向け戦略機種「AT-1」の販売開始

■ 工作機械事業の状況

売上高・営業利益の推移



決算のポイント

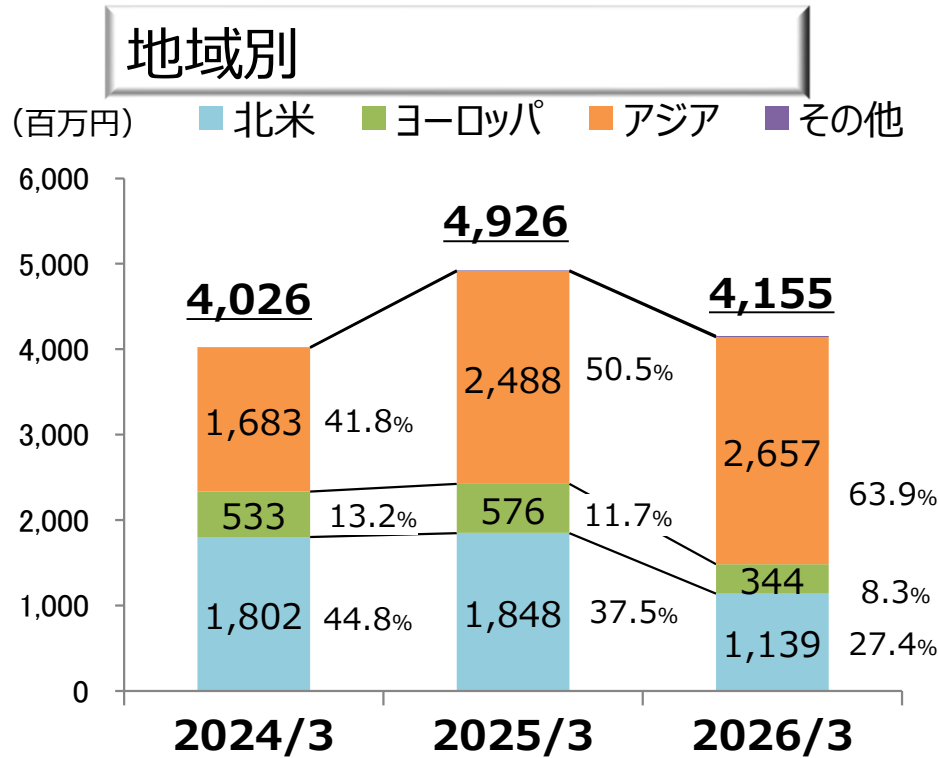
- ✓ 期前半における受注低迷が影響
- ✓ 期後半より国内売上が伸長
- ✓ 4Qの国内売上高は、期末要因により増加

取り組み実績

- ✓ 部門間で情報を適切に共有し、連携を強化することで短納期対応を実践
- ✓ ターゲットユーザの精査と、的確な営業活動の実践

■ 工作機械事業の状況

海外売上高の推移



主要な国別

(百万円)

	2024/3	2025/3	2026/3
アメリカ	1,578 (△30.4%)	1,727 (+9.5%)	993 (△42.5%)
タイ	775 (+6.0%)	956 (+23.4%)	578 (△39.5%)
中国	340 (△63.0%)	704 (+106.7%)	910 (+29.2%)
ドイツ	115 (△41.3%)	269 (+133.5%)	188 (△30.1%)
ベトナム	142 (△54.1%)	345 (+141.8%)	546 (+58.2%)

※ %表示は対前期増減率

決算のポイント

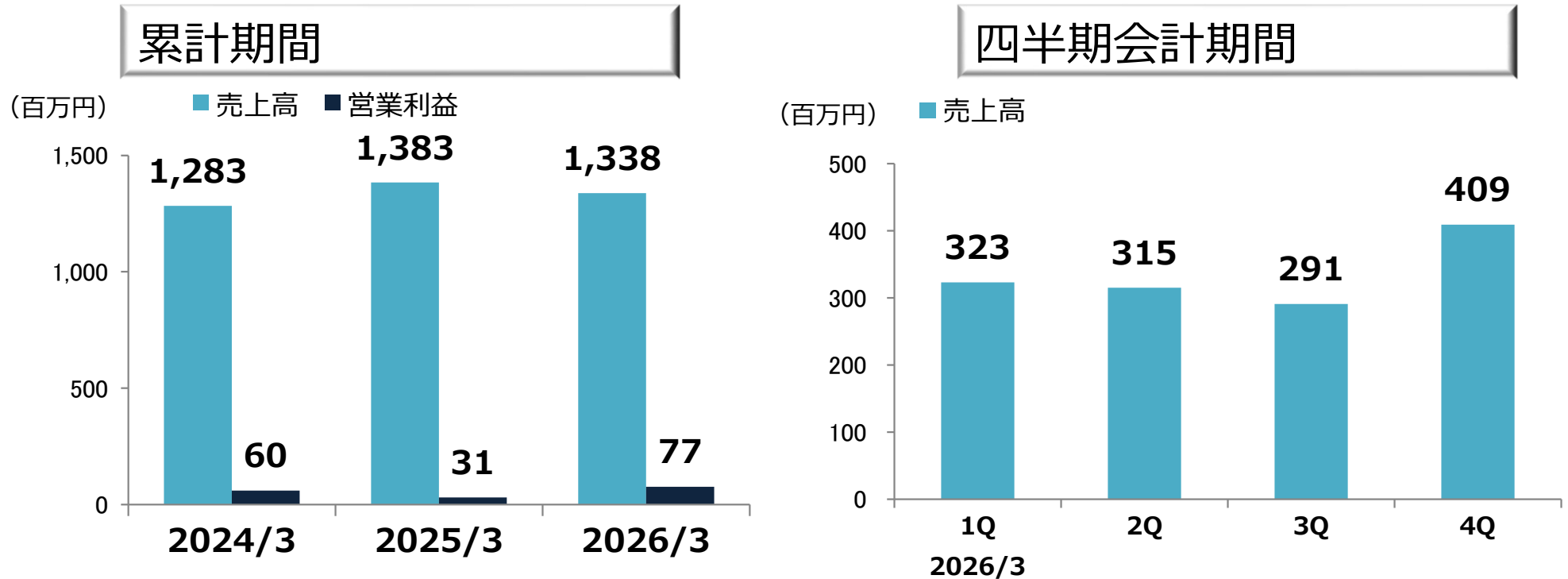
- ✓ 欧米向け、タイ向けは全体として低調に推移
- ✓ 中国向け、ベトナム向けは年間通じて堅調に推移

取り組み実績

- ✓ アメリカでは、主力代理店との販促キャンペーンを実施
- ✓ アジア各拠点では、展示会・プライベートショーの出展を実施
- ✓ 中国では主力・新規ディーラーとの連携強化

IT関連製造装置事業の状況

売上高・営業利益の推移



決算のポイント	<ul style="list-style-type: none">✓ 売上高は前年度比較で微減も、営業利益は改善✓ 期後半の受注獲得により4Qの売上高が大きく増加
取り組み実績	<ul style="list-style-type: none">✓ 大手既存顧客の生産調整の影響を受けるも、その他の既存顧客との取引が堅調に推移✓ 半導体製造前工程の成膜工程や後工程のダイシング工程に係わる装置の製造案件が増加

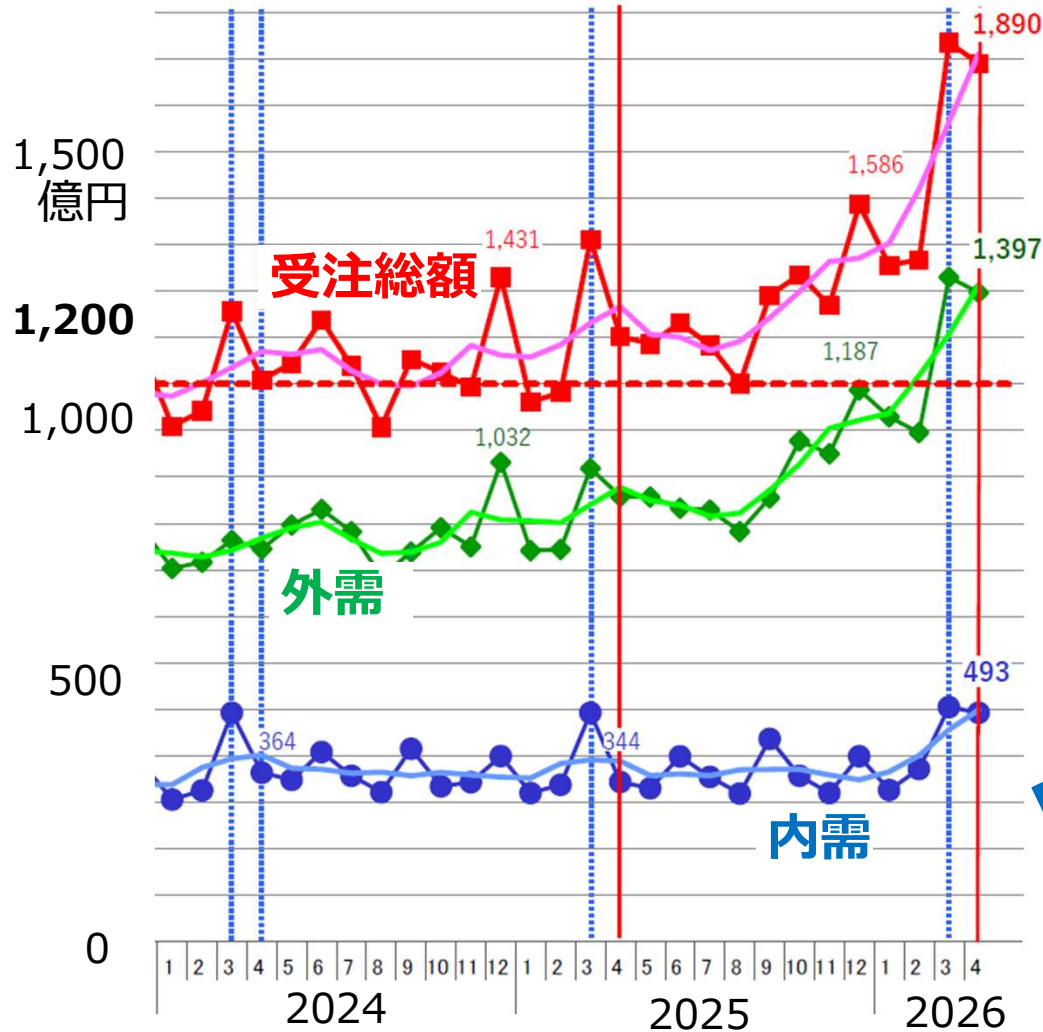
2

2027年3月期 業績予想

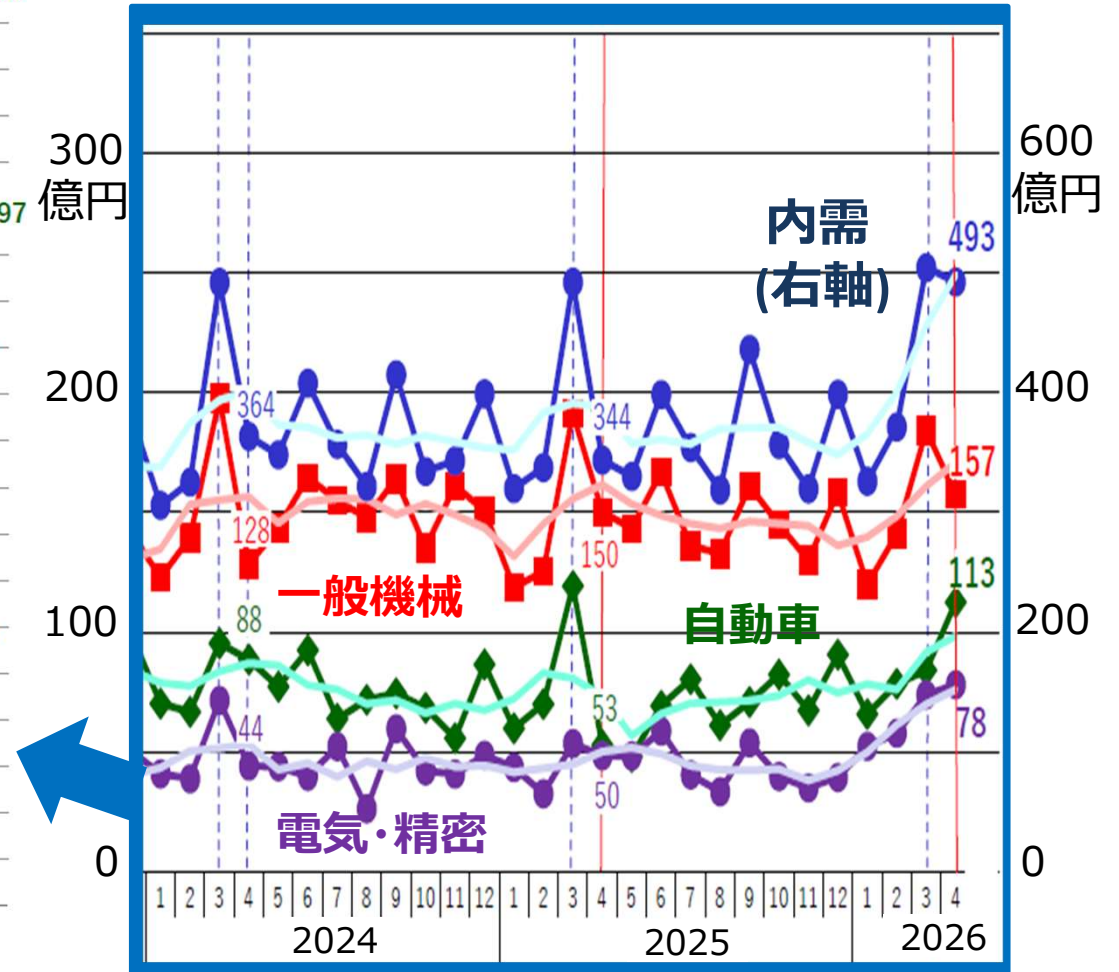
工作機械業界の動向

(出典：日本工作機械工業会)

業界受注額の月別推移



【 詳細 】
内需の月別推移



- 内需、外需ともに堅調に推移し、3月期は過去最高の受注額
- 自動車向けも回復傾向

2027年3月期 業績予想

(単位：百万円)

	2025/3 実績	2026/3 実績	2027/3予想	
			見込み	対前期比
受注高	11,912	13,293	14,000	+5.3%
売上高	13,893	12,722	14,804	+16.4%
工作機械事業	12,327	11,215	13,252	+18.2%
I T 関連製造装置事業	1,383	1,338	1,410	+5.3%
自動車部品加工事業	182	168	142	△15.9%
営業利益	△160	△64	151	—
工作機械事業	△200	△156	63	—
I T 関連製造装置事業	31	77	90	+17.2%
自動車部品加工事業	8	14	△2	—
営業利益率	△1.2%	△0.5%	1.0%	—
経常利益	△103	△70	179	—
親会社株主に帰属する当期純利益	△645	△164	133	—
1株当たり当期純利益 (円)	△59.95	△15.29	12.37	—

※ 受注高は工作機械事業及び I T 関連製造装置事業の受注高の合計です。
 工作機械事業の受注高は、旋盤・改造機、部品等の合計です。

3

2027年3月期 取り組みについて

■ 黒字化の達成に向けた活動

● 受注高の拡大

- 国内外ともに「**地域ごとのニーズや優位性**」を鑑みた販売活動の実施
- **現地代理店等と連携拡大**を図り、販売力を強化
- 営業支援体制の強化と、それによる**営業活動の充実化**（量、質両面で）

● 売上高の確保

- 機械本体とともに周辺装置等を含めた**提案営業を推進**
- **調達先との連携を強化**し、遅滞なくスムーズな生産活動の実現
- 製造工程での**人員・技能・組織体制の強化**による、安定した生産の実現

● 営業利益額の確保

- 「**当社ならではの**」の付加価値が評価される販売活動の実施
- 調達における合理化、生産における効率化による**製造原価の低減**
- 高品質な製品・サービスによる**顧客満足度の向上**

■ 複合加工機 新機種の開発

● 複合加工機 新機種 「XYT-65Y」

- 最大φ65までのワークサイズに対応可能！さらに対向の2スピンドルにY軸を標準とした2タレット構造（最大工具取り付け本数 **48本!**）
⇒ より広範囲なワークの加工が可能に!
- 搬送装置と連携などにより、**生産活動全体の自動化をより強力にサポート!**
- 機械工業見本市「MEX金沢2026」に出展し、大きな反響を獲得！
同日より受注を開始!



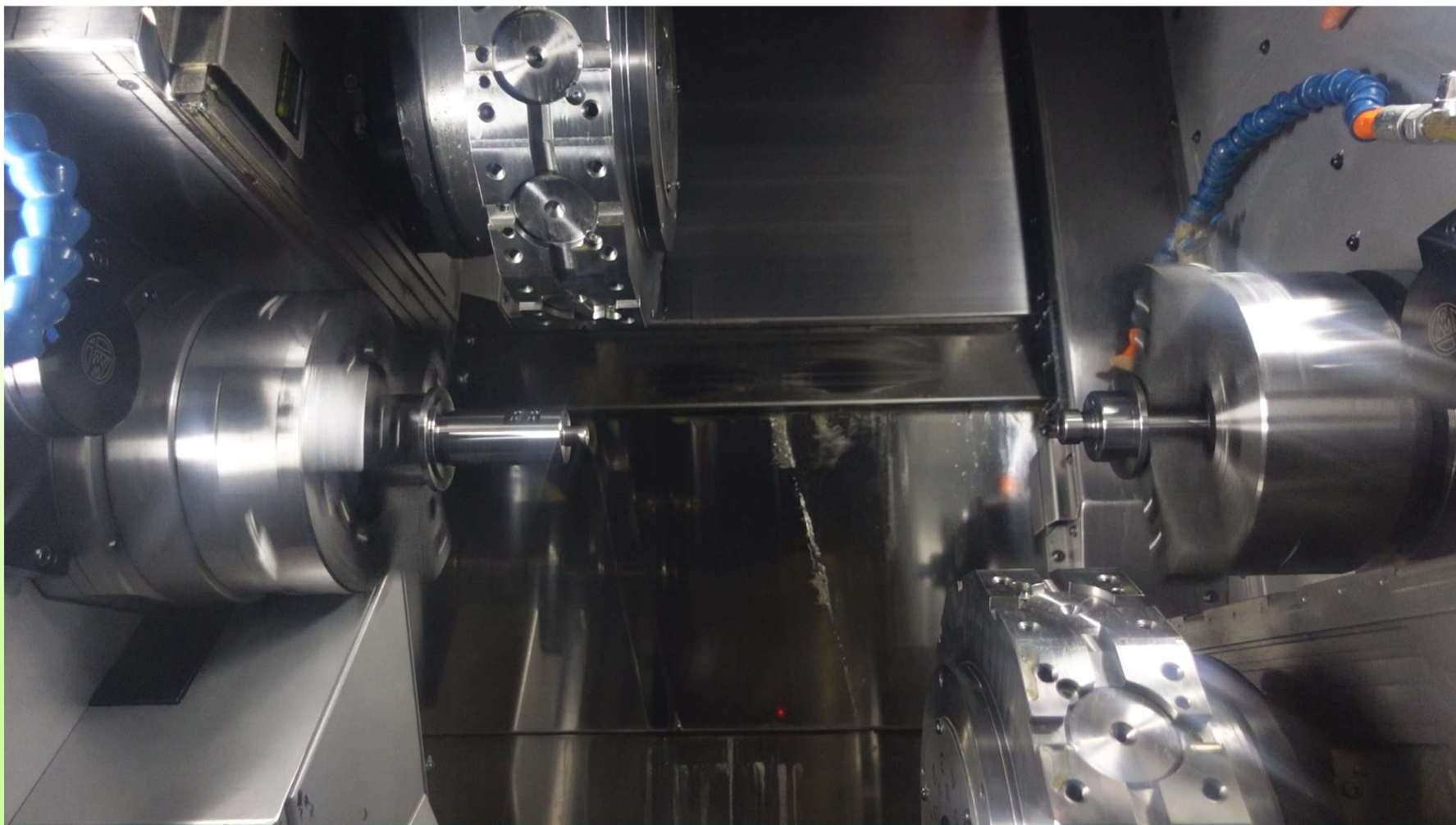
新機種「XYT-65Y」外観画像



MEX金沢2026における展示の様子

■ 複合加工機 新機種の開発

- 複合加工機 新機種 「XYT-65Y」
エアークット動作画像



■ 地域別戦略新機種の販売強化

● アジア向け戦略機種「AT-1」

- 昨年末の販売開始以後、速やかにタイ、ベトナム、インドネシア、メキシコの当社現地拠点へ供給を開始。**展示や販促活動など積極的に展開中！**
- アジア地区において引合が増加しており、**受注も獲得！**
- **高い品質**に加え、操作性の高い大型パネルなど**使いやすさ**も高評価！
また、**スピーディな納期対応**や**細やかなケア**で受注を獲得！



タイ子会社事務所と屋内に展示されている「AT-1」



ベトナム子会社事務所と屋内に展示されている「AT-1」



中期計画2027達成に向けての土台作り

2026年3月期 理念体系を刷新 MVV(ミッション・ビジョン・バリュー)策定

策定初年度 MVV認知・理解の前進を目指して

可視化による認知の定着

コンプライアンスカードへの記載

社内ポータルサイトやポスターによる掲示

経営層・部門責任者MVVインタビューの掲示

理解度チェックテストの実施

TAKAMAZの経営理念 ミッション・ビジョン・バリュー!!

経営理念	高松機械は「社会に貢献」する お客様には、安全でメリットのある商品を、従業員には、生活の安定と希望を、株主には、適切な配当を提供するとともに、協力企業とも共存共栄の精神をもって、社会の発展に積極的に貢献する。
Mission 私たちの使命、存在理由	● 社会課題を解決する製品、技術、サービスの提供を通じて、日本、そして世界のモノづくりを支える。
Vision 私たちの目指す姿、将来像	● お客様や社会の課題を解決に導く、進化を続けるビジネスパートナー ● 社員が地域や社会、家族に誇れる会社
Value 私たちの行動指針、判断基準	● 課題やニーズに徹底的に向き合い、チャレンジし続けます。 ● 『稼ぐ機械』を提供し、お客様のモノづくりに貢献します。 ● ともに働く仲間を尊重し、力を結集して、組織として最高のパフォーマンスを発揮します。

「自動化技術×複合加工技術」で
お客様のモノづくりを支え続ける
グローバルソリューション・カンパニーへ!



策定2年目 今期の重点施策 共感・行動の創出

経営層インタビュー・理解度チェックテストの継続

MVV表彰制度の新設

バリュー行動の明文化



「モノづくり」と「社会への貢献」
MVVに込めた原点と未来
高松 宗一郎社長

MVVは「新しくなった」けど、「変わった」わけじゃない

MVVは新しくしたけど、これまでの理念を否定したわけじゃない。昔から大事にしてきた経営理念は今のまま。今の時代に合わせて、社員みんながどう行動すればいいのか。改めて考え直す必要はある。でも、言葉で言うだけでは伝わらない。具体的な行動指針が必要。それがMVVの原点。今のMVVは、その原点を踏まえ、さらに進化させたもの。社員みんなが、このMVVを自分の行動指針として、日々の仕事に活かすことが、今の高松機械の使命。それが、MVVの原点。そして、このMVVは、これからも進化を続ける。社員みんなが、このMVVを自分の行動指針として、日々の仕事に活かすことが、今の高松機械の使命。それが、MVVの原点。

「モノづくり」は、うちのアイデンティティ

MVVを、送ったときの道しるべに

仕事って、結局は誰かの役に立つこと

「モノづくり」を変える会社のこれから

2025.11.19 経営層インタビュー

2025.12.01 経営層インタビュー

4

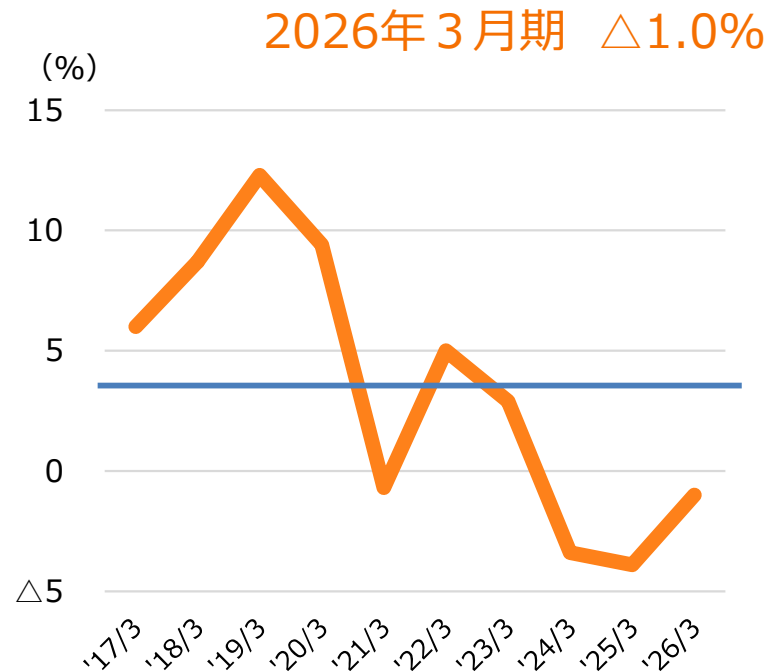
資本コストや株価を意識した経営の実現

■ 資本コストや株価を意識した経営の実現

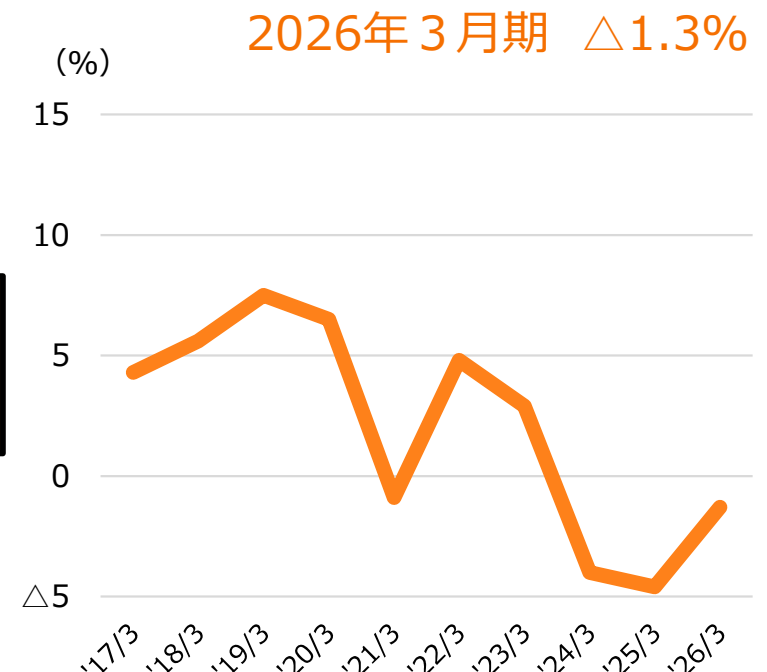
現状認識

- ◆ 当期純利益率の低迷がROEの低迷に直結
- ◆ 収益性の改善を強力に推進し、早期黒字化が喫緊の課題

【参照①】ROEの推移



【参照②】当期純利益率の推移



2028年3月期
目標
4.3%

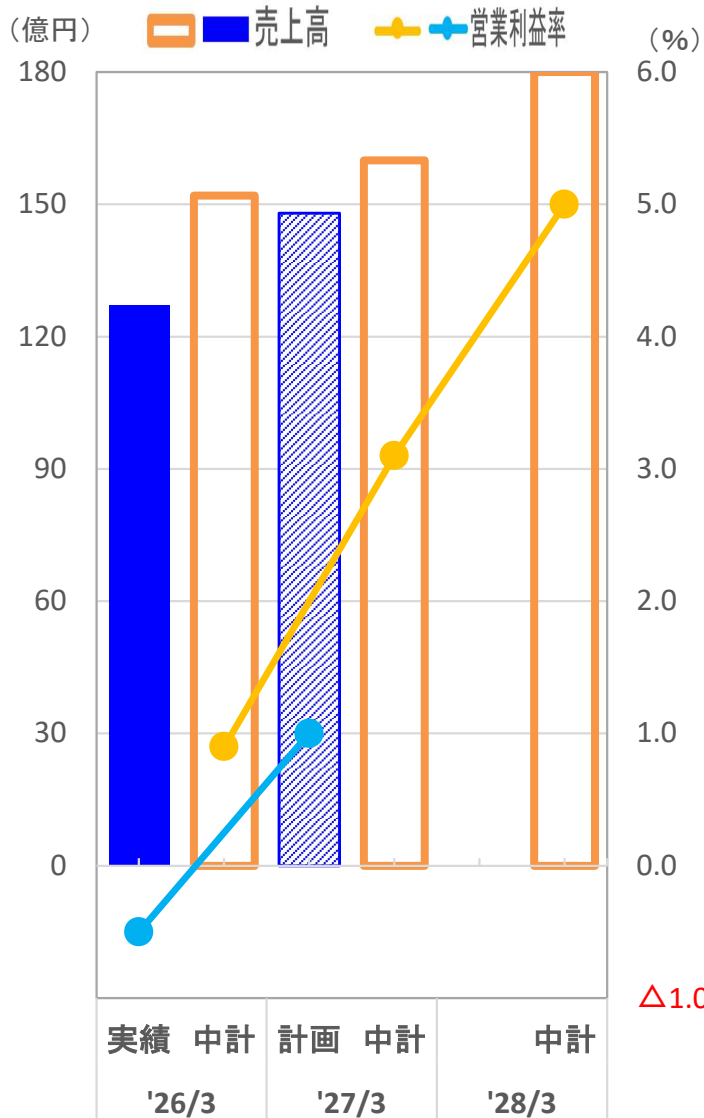
「中期経営計画（中期計画2027）の推進」により、2026年3月期が改善

⇒ 企業体質の強化に向け、継続的に取り組む

資本コストや株価を意識した経営の実現

中期計画2027

- ◆ 1年目は目標未達ながらも取り組みの効果が発現
- ◆ 中長期的視点からの経営基盤強化施策を推進



1年目(2026年3月期)の振り返り

- ▶ 営業キャンペーンの実施等や、材料費率の改善成果
- ▶ 【経営基盤強化】は、「値決め」「営業体制強化」「全社バリューチェーン最適化」を中心に推進
- ▶ 第4工場の売却（資産の圧縮）、新人事給与制度の運用開始

2年目(2027年3月期)の取り組み

- ▶ 【経営基盤強化】の継続的推進
 - ▶ 【成長戦略の基盤強化】の促進
- 収益基盤の強化：セミオーダー対応
 グローバル戦略再構築：地域単位での再編
 技術・研究開発力の強化：ソフト競争力

△1.0

■ 資本コストや株価を意識した経営の実現

人材戦略

- ◆ 人手不足、市場ニーズの高度化、多様化への対応
- ◆ 人材戦略を策定し、成長戦略を支える人的資本を強化

一人ひとりの挑戦と成長が、
会社の未来をつくります

誇りを持って
働ける
会社づくり

チャレンジする
人材の育成

チームで
成果を出せる
組織文化の醸成

- ◆ エンゲージメント向上
(離職率改善)
- ◆ 人材定着・採用競争力の
強化
- ◆ 生産性向上
(付加価値の向上)
- ◆ 人材価値の向上
(スキル・キャリアの高度化)

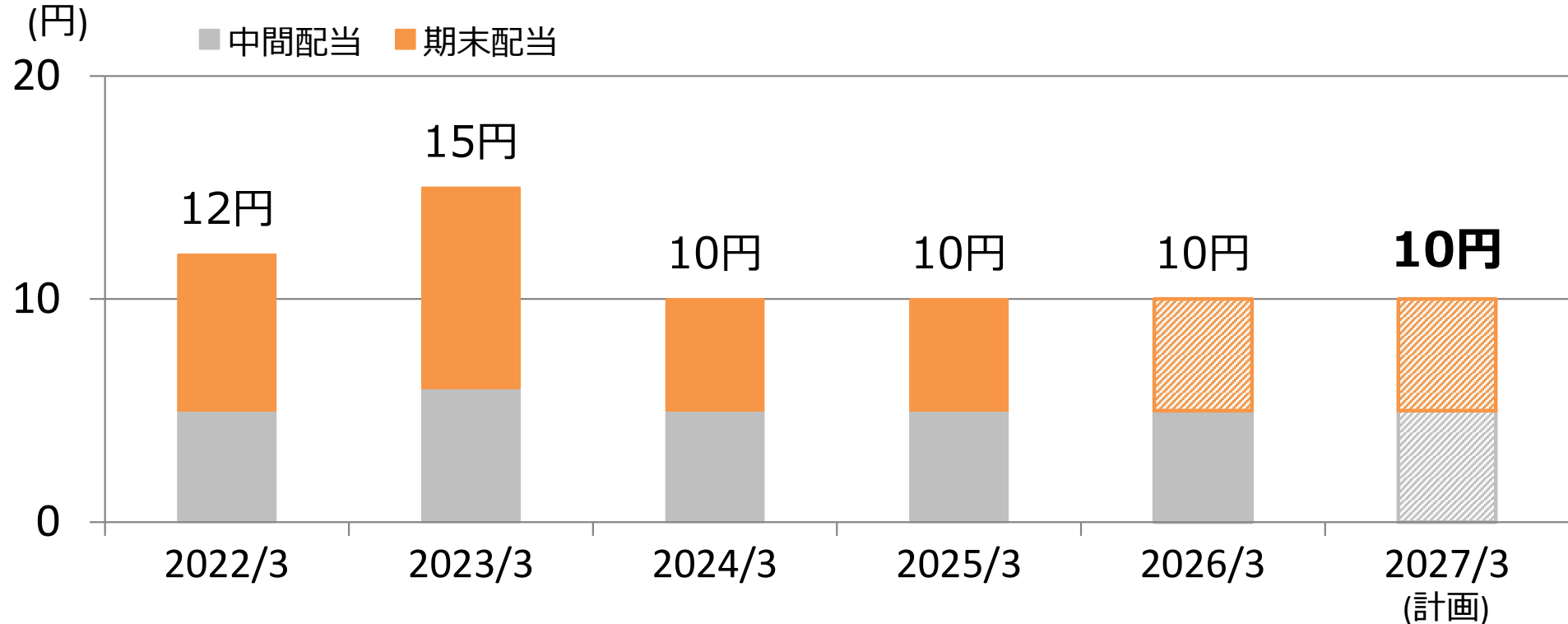
企業価値・ROE向上の実現

■ 資本コストや株価を意識した経営の実現

株主還元の強化

(配当方針)

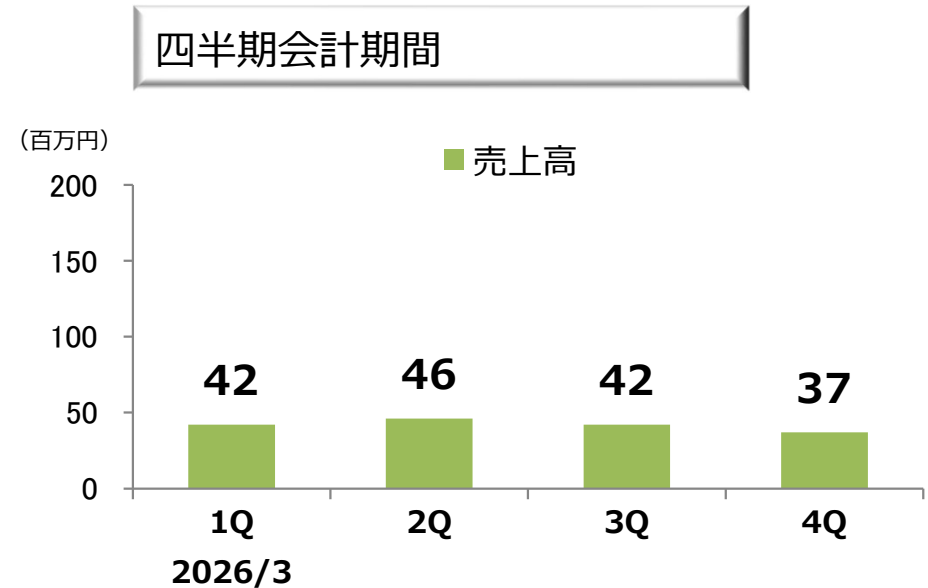
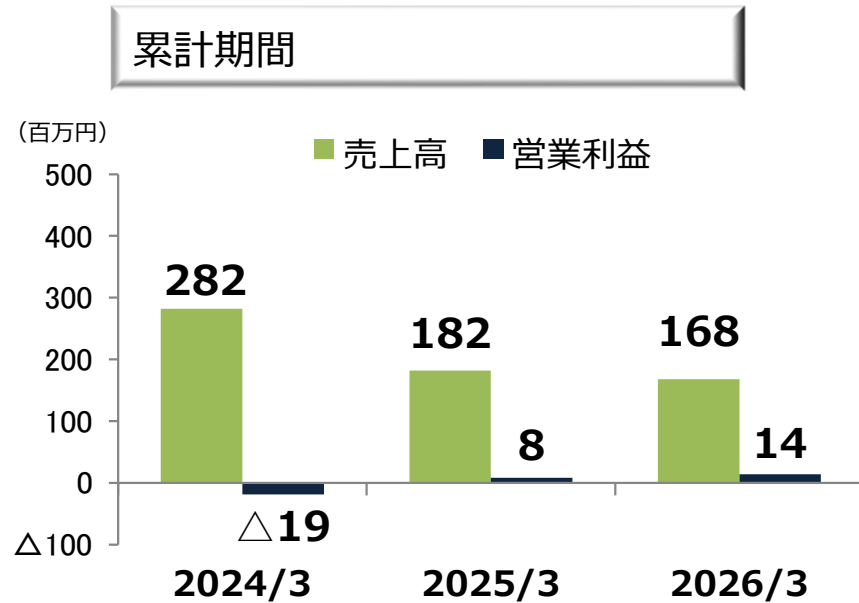
- ◆ 安定的な配当水準を維持する方針に従い、
下限として1株当たり年間配当額10円を維持する
- ◆ 配当性向は40%程度で設定し、業績の回復、利益の増額とともに
株主への還元額を増加させる



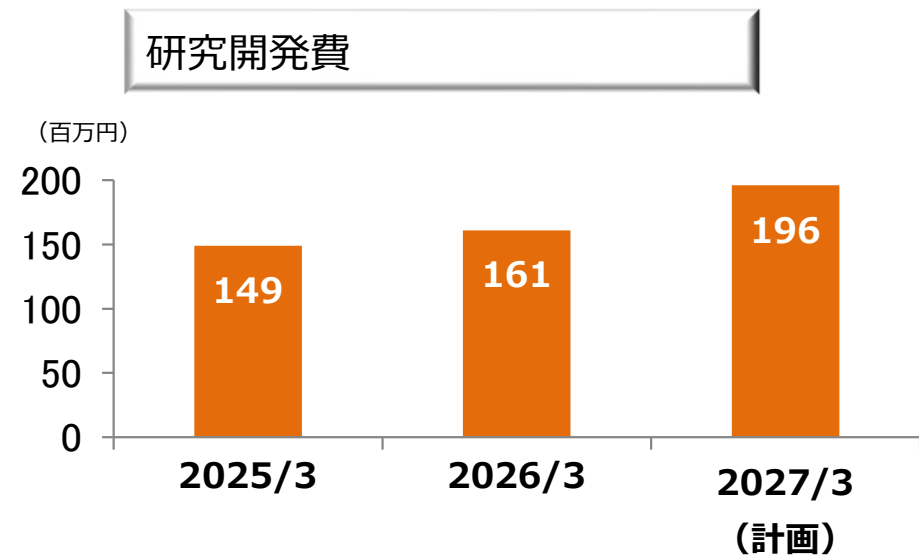
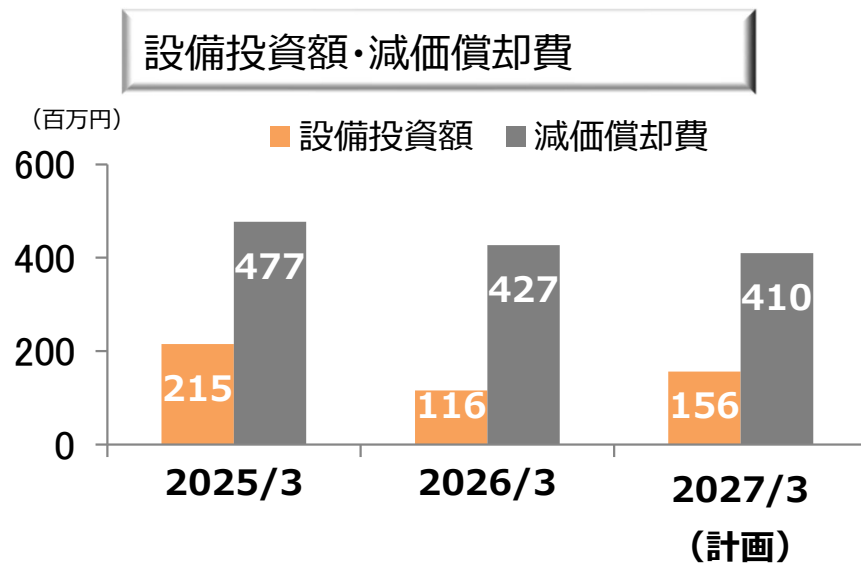
參考資料

■ その他業績に関する指標

● 自動車部品加工事業 売上高・営業利益の推移

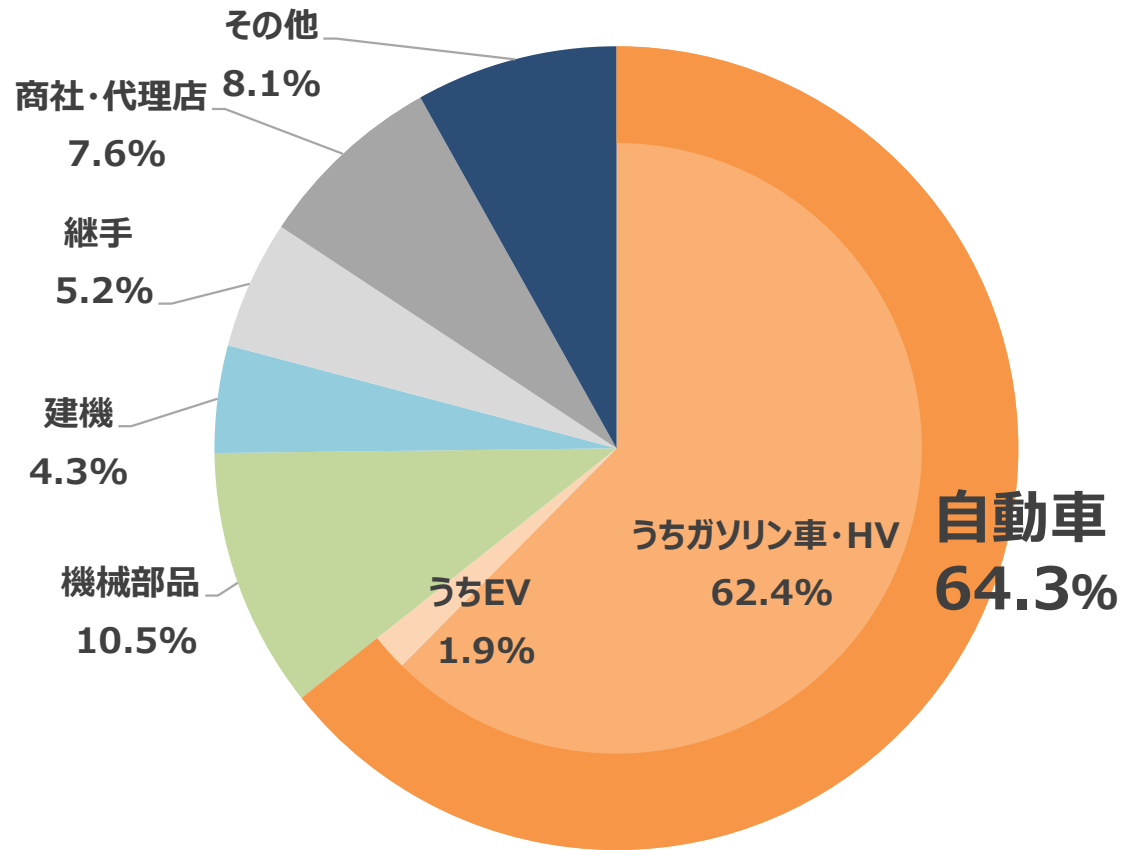


● 設備投資額・減価償却費・研究開発費



業種別受注先の状況

2026/3 構成比



(注) 受注高は、旋盤・改造機に限定しています。

直近の主な受注先

自動車業界

・TOYOTA ・DENSOU ・豊田自動織機
 ・いすゞ自動車 ・ジェイテクト ・ジャトコ

自動車業界以外

・川崎重工 ・ヤンマー ・グンゼ ・三菱マテリアル

■ 会社概要



会社名	高松機械工業株式会社
設立年月日	1961年7月1日
所在地	石川県白山市旭丘1-8
資本金	18億35百万円
発行済株式総数	1,102万株
正社員数	連結：524名 単体：469名（2026年3月末現在）
上場取引所	東京証券取引所スタンダード市場（証券コード 6155）

事業内容

工作機械事業 (112億15百万円)

事業内容

- CNC旋盤、周辺装置の製造、販売、サービス・メンテナンス



- コレットチャックの製造、販売



生産拠点

本社工場



あさひ工場



他 第2工場

IT関連製造 装置事業 (13億38百万円)

事業内容

液晶基板や半導体などに関する製造装置の製造

生産拠点

開発センター



自動車部品 加工事業 (1億68百万円)

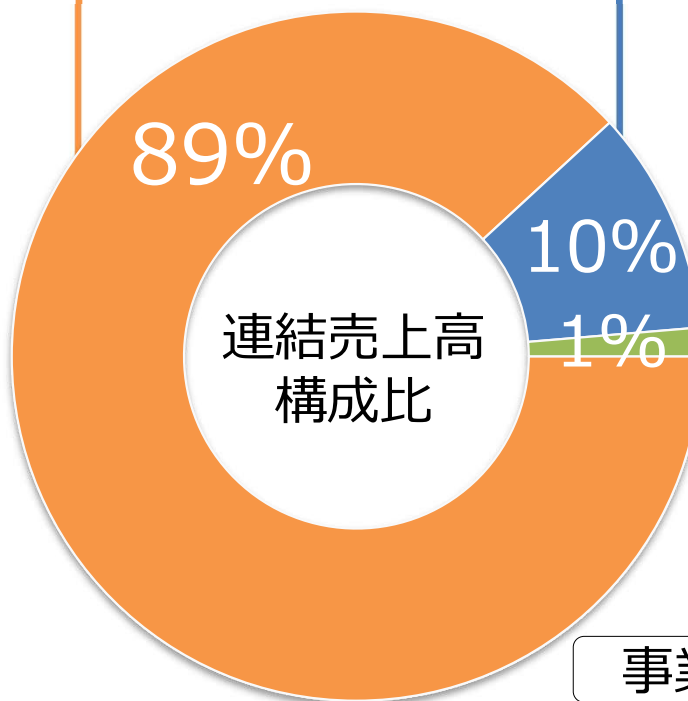
事業内容

自社製旋盤による自動車部品の加工



生産拠点

第3工場



■ 営業拠点・グループ会社

国内営業拠点：9か所

関東、大阪、名古屋、
浜松、厚木、東北、
北陸、信越、広島

国内グループ会社：1社

• FTJ

海外グループ会社：8社

- TMU (アメリカ)
- TME (ドイツ)
- TMT (タイ)
- 喜志高松 (中国)
- 友嘉高松 (中国)
- PTTI (インドネシア)
- TMVN (ベトナム)
- TMMX (メキシコ)

国内では、自動車産業が盛んな地域での営業拠点の開設
海外では、ユーザの海外進出に対応すべくグループ会社の設立



迅速かつ適切なサービス・メンテナンスの提供

■ 当社製品による加工例

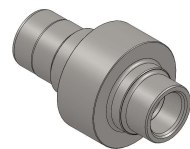
当社製品による加工例

✓ 高品質が要求される、小さく丸い部品を加工

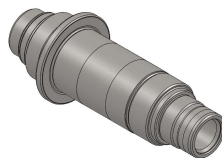
自動車関係（EV含む）（例）



ギヤ関係部品

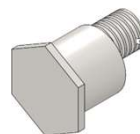


足回り関係部品

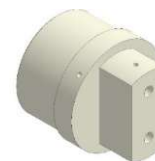


モータ関係部品

その他（例）



エレベータードア部品



照明機器用部品



シャワー用部品

加工した部品の使用例

- 自動車
- 建設機械
- 航空機関連
- バイク
- 建材・設備機器
- 医療機器
- 家電製品



**主力受注先の自動車業界以外の分野の
新規開拓にも注力**

■ 自動化技術

豊富なノウハウと自動化装置群

- 早くから自動化に取り組み、実績を積み上げ
- 自動化技術を組み合わせ、お客様に最適の生産ラインを提供

設計～製造まで一貫した生産体制

- 自動化装置・システムを自社で開発



当社CNC旋盤



自動化装置群



多様な製品ラインナップ

ユーザーニーズに応える製品開発

高精度・高品質を維持しつつ生産性の向上を実現

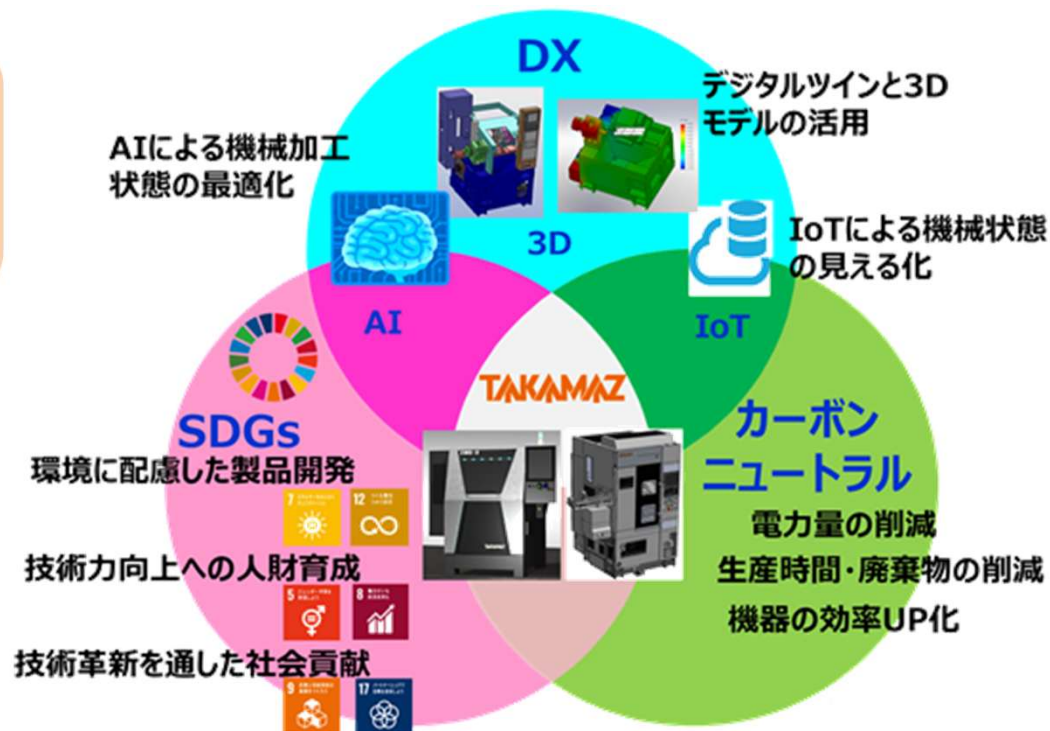
省エネ・省スペース

環境負荷の低減

機能を特化した
戦略機種

新製品開発の取り組み

「DX」・「SDGs」・「カーボンニュートラル」の
3つのキーワードで
新製品開発を進めています。



投資家・株主の皆様への情報発信

HP

TAKAMAZ

検索



<https://www.takamaz.co.jp/>

● トップページ



● 株主・投資家情報ページ



刊行物



株主通信

決算説明会資料

2026年3月期 決算説明会

2026年6月3日
高松機械工業株式会社(証券コード: 6155)

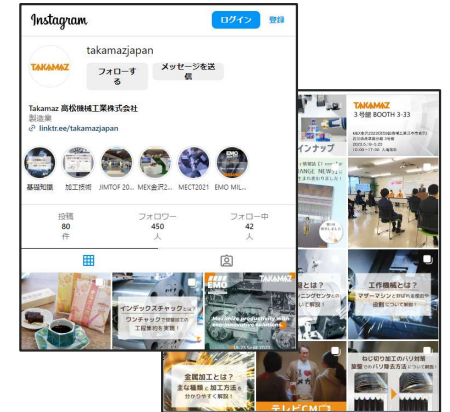
サステナビリティ レポート

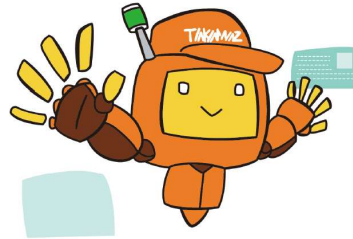


ORANGE NEWS



SNS





TAKAMAZ

<https://www.takamaz.co.jp>

